

# 総務省における平成27年度科学技術関係予算について

資料2

- 総務省における科学技術関係予算については、「総合戦略2014」を踏まえ、重点化対象施策を中心に前年度予算額に対し8%増の523.8億円を概算要求。
- それぞれの施策について所要の予算を確保すべく、財政当局と折衝中

(億円)

	H26年度当初予算額		H27年度概算要求・要望額					
		うちAP施策等 (交付金等除く)		うちAP施策等 (交付金等除く)	うち要求枠		うち要望枠	
					うちAP施策等 (交付金等除く)	うちAP施策等 (交付金等除く)		
<b>科学技術関係経費</b>	492.6	74.8	523.8	106.8	447.8	58.8	76.0	48.0
NICT運営費 交付金除く	210.7		246.1		170.1		76.0	
<b>うち科振費</b>	406.4	35.5	412.3	41.8	377.8	35.3	34.5	6.5
NICT運営費 交付金除く	125.1		135.2		100.7		34.5	

# 主なAP施策等 ①

## エネルギー

### ★「巨大データ流通を支える次世代光ネットワーク技術の研究開発及び「フォトニックネットワーク技術に関する研究開発」【10億円＋NICT運営費交付金 276.5億円の内数】

2020年オリンピック時に予想される8K映像等の巨大なリアルタイムデータの流通等に対応するため、光信号のままデータを伝送・交換するネットワーク技術(フォトニックネットワーク技術)、及び現状を大幅に上回る超大容量を確保できる次世代光ネットワーク技術の実現に向けた研究開発を実施。

## 次世代インフラ

### ★グローバルコミュニケーション計画の推進 -多言語音声翻訳技術の研究開発及び社会実証- 【20.5億円＋NICT運営費交付金 276.5億円の内数】

世界の「言葉の壁」をなくす「グローバルコミュニケーション計画」を推進するため、多言語音声翻訳の対応領域、対応言語を拡大し、翻訳精度を高める研究開発を推進するとともに、産学官連携により、病院、商業施設、観光地等において多様なアプリケーションの社会実証を実施。

### ★サイバーセキュリティの強化【15.2億円＋NICT運営費交付金 276.5億円の内数】

巧妙化・複雑化するサイバー攻撃への対応能力を向上させるため、標的型攻撃の解析・防御モデルの検討、実践的な防御演習の実施、国際連携によりサイバー攻撃発生の予兆を検知し迅速な対応を可能にする技術の研究開発、機器間通信(M2M)におけるセキュリティ技術の開発・実証等を実施。

### ★ビッグデータによる新産業・イノベーションの創出に向けた基盤整備

#### 【7.2億円＋NICT運営費交付金 276.5億円の内数】

スマートフォンの普及やクラウドビジネス等の進展によるネットワーク上の多種多様で大量のデータ流通に対応するため、様々なネットワークを迅速かつ柔軟に構成し、かつ安全な運用管理を可能とするネットワーク仮想化技術の研究開発を実施。

### ★ICTを活用した自立行動支援システムの研究開発【5億円】

超高齢化社会における介護者不足等の問題解決を図るため、ネットワークロボット技術の高度化を図ることにより、車いす等がネットワークに接続し、屋外においても自立的、かつ安全・安心に移動できる自立行動支援システム(環境適応型自立走行車いす)の研究開発を実施。

# 主なAP施策等 ②

## ★G空間プラットフォームにおけるリアルタイム情報の利活用技術に関する研究開発【3.5億円】

新産業・新サービス創出、防災や暮らしの安全等に寄与するため、官民のG空間情報(地 図空間情報)を自由に組み合わせで利活用 できる「G空間プラットフォーム」の構築に資するため、大規模なG空間情報をリアルタイムに利活用する技術の研究開発を実施。

## ★G空間次世代災害シミュレーションの研究開発【0.5億円】

大規模災害発生時の的確な応急対応や住民避難の確保のため、G空間情報を活用した建物内の火災の延焼拡大から市街地火災までの延 焼予測等が可能な災害シミュレーションの研究開発を、総務省のG空間プラットフォームや災害情報を共有・活用する内閣府の総合防災情報シ ステム等と連携して推進。

## ★津波災害現場等での消防活動の安全確保を踏まえた救助技術の研究【0.3億円の内数】

津波被災現場において生存者をいち早く発見し救助するために、無人ヘリを活用した偵察技術や水・ガレキ等が滞留している領域での消防活 動を可能とする踏破技術・救助技術などの技術開発を実施。

## ★エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットの研究開発【2.5億円】

石油コンビナート等のエネルギー・産業基盤における大規模・特殊な災害に即応する緊急消防援助隊のドラゴンハイパー・コマンドユニット(エ ネルギー・産業基盤災害即応部隊)の活動に資するG空間×ICTを活用した消防ロボットの研究開発を、国土交通省の次世代社会インフラ用ロ ボット開発と連携して推進。

### 環境創出

## ★戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)【21.6億円】

競争的資金による研究開発を通じて、野心的な研究課題に挑戦する独創的な人材を支援する「異能 vation」の推進、ICT の利活用による地域 の活性化、戦略的な国際共同研究、先進的な通信アプリケーションの開発等を促進。

## ★I-Challenge!(ICT イノベーション創出チャレンジプログラム)【5億円】

ICT 分野における我が国発のイノベーションを創出するため、ベンチャー企業や大学等による新技術を用いた事業化への挑戦に対する支援を 実施。

## ★ICT オープンイノベーション促進研究開発事業【4億円】

広く社会展開を図ることを念頭に置いた波及効果の高い技術分野を特定し、「技術シーズの発掘」と「異分野・異業種の融合によるプロジェクト 化」の2段階による戦略的な研究開発を推進し、オープンイノベーションを促進。